経済学科カリキュラムマップ（ポリシーマップ）

建学の精神（学則第１条）

↓

教育理想（教育理念）

↓

大学全体のディプロマ・ポリシー

↓

経済学科のディプロマ・ポリシー

①語学や情報技術を用いた基礎的なコミュニケーション能力を有し、多文化・異文化および社会と自然に関する知識を理解し、倫理観や社会的責任を持ち、卒業後も自律・自立して学習できる教養を身につけている。(「知識・理解」「問題解決力」「コミュニケーション力」「情報リテラシー」「社会性」)

②ローカルとグローバル双方の視点を持ち、経済学、経営学および法律に関する基本的な知識を体系的に理解し、学んだ知識体系や情報リテラシーを用いて、問題を発見し、必要な情報を収集・分析・整理し、解決策を提案することができる。(「知識・理解」「問題解決力」)

③ビジネスの場で求められる文献・情報を的確に収集・加工・保管し、倫理観を持って活用・発信する能力を持ち、簿記およびコンピュータ等に関する実務的能力と金融リテラシーを身につけている。(「実務能力」「情報リテラシー」「金融リテラシー」)

④自己の良心と社会の規範やルールに従うことができ、マナーを備えた行動により円滑に他者と協調・協働し、地域経済や地域コミュニティの活性化に寄与することができる。(「社会性」)

以上の学力を育むために本学科では、「共通教養科目」と「学科科目」という二つの系列によってカリキュラムを編成している。このカリキュラムにおいて、所定の単位を修め、本学学則に定める卒業要件を満たした者に短期大学士（経済）の学位を授与する。

経済学科の DP（キーワード）

- KDP1　知識・理解
- KDP2　問題解決力
- KDP3　コミュニケーション力
- KDP4　情報リテラシー
- KDP5　社会性
- KDP6　実務能力
- KDP7　金融リテラシー

全学科共通のカリキュラム・ポリシー（CP）

- CCP1「共通教養科目」と「学科科目」をバランスよく配置して、建学以来の教養教育を重視しつつ、現代社会に役立つ教育を施す
- CCP2「共通教養科目」系列は、本学の人間形成教育を具現するために「基礎コミュニケーション系」・「基礎教養系」・「生涯教養系」の三つの系列で構成
- CCP3「基礎コミュニケーション系」では少人数制の「基礎ゼミナール」や「文章作法」「発表法」の他に語学科目や情報科目を置き、「読む・書く・話す・聞く」といったコミュニケーション能力を養成
- CCP4「基礎教養系」は人文・社会・自然科学の各科目を配して、専門教育への橋渡しとするとともに本学の教育の基盤となる教養を培う
- CCP5「生涯教養系」には、「キャリア教育」や「女性と社会」などの科目を配置し、人間としての生き方、女性としての生き方、社会生活のマナーなど、生涯を通じて必要となる考え方を学ぶ

経済学科のカリキュラム・ポリシー

- KCP1　社会人として通用する経済学の基礎知識を確実に身につけることができるように、「経済学の基礎」４科目を１年前期から２年後期の４期すべてに配置し、必修科目とする
- KCP2　日本経済や地域経済についての専門知識や消費者・生活者の視点から考察する力を身につけるために、「環境と経済」「消費と経済」などの科目で構成される「経済と生活」系列を履修モデルとして提示する
- KCP3　グローバル化する世界経済への理解を深め、地域の金融機関が求める人材ニーズに応えるために、「銀行と金融」「証券と金融」「保険と金融」などの科目で構成される「金融と国際経済」系列を履修モデルとして提示する
- KCP4　企業経営やマーケティングなどの理論や商法・会社法の知識を身につけ、ビジネスの場で不可欠な情報を収集・活用する能力を養うために、「企業と経営」「企業と市場」などの科目で構成される「経営と情報」系列を履修モデルとして提示する
- KCP5　ビジネス社会で求められる実践的な基礎知識や情報処理能力を養成し、検定合格率の向上を図るために、「簿記Ⅰ・Ⅱ」「コンピュータ実習Ⅲ・Ⅳ」などの各種資格取得を目指した科目を開設する
- KCP6　職場での実務体験を通して、職業や企業への理解を深め、キャリアデザインの設計やビジネス・スキルの向上などを目指す「企業実習Ⅰ・Ⅱ」「キャリア論」「オフィスワーク」で構成される「企業研究プログラム」を設置する

共通教養科目　基礎コミュニケーション系 16 科目／基礎教養系 7 科目／生涯教養系 5 科目

基礎コミュニケーション系

- 基礎ゼミナールⅠ（レポート演習）
- 基礎ゼミナールⅡ（発表演習）
- 文章作法
- 発表法
- 総合英語Ⅰ
- 総合英語Ⅱ
- ビジネス英語Ⅰ
- ビジネス英語Ⅱ
- 英会話Ⅰ
- 英会話Ⅱ
- 韓国語Ⅰ
- 韓国語Ⅱ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- コンピュータ実習Ⅰ
- コンピュータ実習Ⅱ

基礎教養系

- 思考と論理
- 歴史と人間
- 文学
- 心理学
- 法学
- 社会学
- 生命の科学

生涯教養系

- スポーツ
- キャリア教育
- 生命と倫理
- 女性と社会
- 生活と健康

経済学科の科目群

経済学の基礎

１年前期	１年後期	２年前期	２年後期
経済学の基礎Ⅰ	経済学の基礎Ⅱ	経済学の基礎Ⅲ	経済学の基礎Ⅳ

経済と生活

１年後期１科目	２年前期３科目	２年後期３科目
日本の経済	北海道の経済	労働と経済
	消費と経済	福祉と経済
	税金と経済	環境と経済

金融と国際経済

１年後期１科目	２年前期３科目	２年後期３科目
金融と経済	銀行と金融	保険と金融
	証券と金融	国際経済事情
	国際経済	国際金融

経営と情報

１年前期１科目	１年後期２科目	２年前期２科目	２年後期３科目
簿記Ⅰ	企業と経営	企業と会計	企業と市場
	簿記Ⅱ	コンピュータ実習Ⅲ	企業と法律
			コンピュータ実習Ⅳ

学科関連科目

１年後期１科目	２年前期４科目	２年後期２科目
人間行動と社会	公共の思想	国際社会と日本
	政治と生活	法律と生活
	食料問題と日本	
	情報と社会	

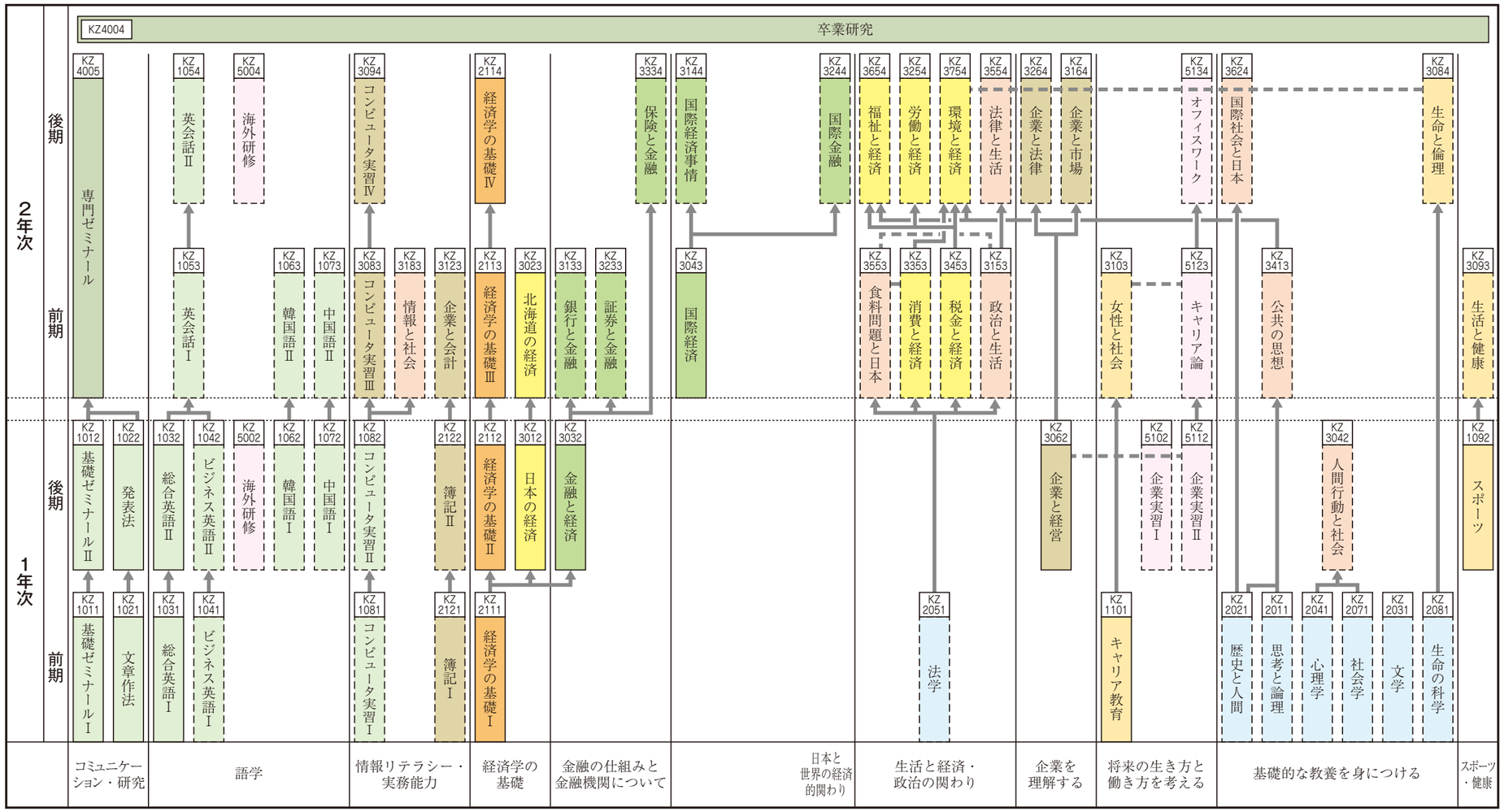
研究　２年通年１科目　専門ゼミナール　２年後期１科目　卒業研究

企業研究プログラム

１年後期２科目	２年前期１科目	２年後期１科目
企業実習Ⅰ	キャリア論	オフィスワーク
企業実習Ⅱ		

海外研修

カリキュラムマップ（履修系統図）



共通教養科目		
基礎コミュニケーション系	基礎教養系	生涯教養系

学科科目						
研究	経済学の基礎	経済と生活	金融と国際経済	経営と情報	学科関連科目	自由科目

科目の囲み線

- 必修
- 選択（選択必修含む）

ナンバリングについて

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序をあらわし、教育課程の体系性を示す仕組みです。

ＫＺ１１１１

↑ 学科名を示す（経：経済学科）

↑ 1000台：初年次的科目・導入科目
2000台：学問の基礎となる科目・専門の基礎となる科目
3000台：専門の科目、教育理念を基にした科目
4000台：研究（専門ゼミナール・卒業研究）
5000台：自由科目

下一桁
1：1年前期
2：1年後期
3：2年前期
4：2年後期
5：通年

経済学科卒業要件履修単位数

・経済学科を卒業するためには、定められた科目系列別単位数の条件を満たしながら、68 単位以上を履修しなければなりません。その系列別単位数は、まず大きく「共通教養科目」系列の 23 単位と「学科科目」系列の 45 単位とに分けられています。

卒業要件単位	68 単位以上	共通教養科目 …… 23 単位以上 学 科 科 目 …… 45 単位以上 ※学科科目のうち、自由科目の単位は卒業要件に含まれない。

・共通教養科目は、次のように構成されています。

共通教養科目	23 単位以上	基礎コミュニケーション系 …… 10 単位（必修・選択必修）以上 基 礎 教 養 系 …… 8 単位（選択必修）以上 生 涯 教 養 系 …… 5 単位（必修・選択必修）以上

・学科科目は、「研究」、「経済学の基礎」、「経済と生活」、「金融と国際経済」、「経営と情報」、「学科関連科目」、「自由科目」からなります。ただし、「自由科目」は、卒業要件単位には算入されません。

学 科 科 目	45 単位以上	研　　究 …… 3 単位（必修） 経済学の基礎 …… 8 単位（必修） 経 済 と 生 活 …… 4 単位（必修） 金融と国際経済 …… 4 単位（必修） 経 営 と 情 報 …… 2 単位（必修） 上記系列からの選択必修 …… 16 単位（選択必修）以上 ※〈経済と生活〉、〈金融と国際経済〉、〈経営と情報〉の 3 系列全体の選択科目の中から 16 単位以上選択必修 学科関連科目 …… 8 単位（選択必修）以上 自 由 科 目 …… 8 単位（選択）

＊各系列の授業科目は、上の（　）内に示したように、「必修」、「選択必修」、「選択」に分かれています。
必修 ── 必ず履修しなければならない科目。
選択必修 ── 系列の規定単位数に従って、所定の複数科目から選択して履修しなければならない科目。
選択 ── 学生各自の意思により履修をきめることができる科目。
履修登録においては、この区分をよく理解しておくことが肝要です。

経済学科開講科目表

(1) 共通教養科目

系列		科目	単位数	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	備考	摘要	学位授与の方針（KDP）建学の精神に基づき「教養」を涵養する科目の方針 KDP1	KDP2	KDP3	KDP4	KDP5
共通教養科目	基礎コミュニケーション系	基礎ゼミナールⅠ（レポート演習）	1	○					6単位必修	○	○		○	○
		基礎ゼミナールⅡ（発表演習）	1		○					○	○	○		○
		文章作法	1	○				隔週授業		○	○			○
		発表法	1		○			隔週授業		○		○		○
		総合英語Ⅰ	1	○						○		○		
		総合英語Ⅱ	1		○					○		○		
		ビジネス英語Ⅰ	1	○				卒業要件とする場合は2科目修得	4科目4単位以上選択必修	○		○	○	
		ビジネス英語Ⅱ	1		○					○		○	○	
		英会話Ⅰ	1			○		卒業要件とする場合は2科目修得		○		○		○
		英会話Ⅱ	1				○			○		○		○
		韓国語Ⅰ	1		○			卒業要件とする場合は2科目修得		○		○		○
		韓国語Ⅱ	1			○				○		○		○
		中国語Ⅰ	1		○			卒業要件とする場合は2科目修得		○		○		○
		中国語Ⅱ	1			○				○		○		○
		コンピュータ実習Ⅰ	1	○				卒業要件とする場合は2科目修得		○	○		○	
		コンピュータ実習Ⅱ	1		○					○	○		○	
	基礎教養系	思考と論理	2	○					4科目8単位以上選択必修	○	○	○		
		歴史と人間	2	○						○	○			○
		文学	2	○						○	○		○	○
		心理学	2	○						○	○			○
		法学	2	○						○			○	○
		社会学	2	○						○				
		生命の科学	2	○						○	○		○	
	生涯教養系	スポーツ	1		○				1単位必修	○		○		○
		キャリア教育	2	○					2単位必修	○		○	○	○
		生命と倫理	2				○		1科目2単位以上選択必修	○	○			○
		女性と社会	2			○					○	○		○
		生活と健康	2			○				○	○			○
小計（共通教養科目）										23単位以上				

(2) 経済学科科目

系列		科目	単位数	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	備考	摘要	学位授与の方針（DP） 経済学科の方針 KDP1	KDP2	KDP3	KDP4	KDP5	KDP6	KDP7
学科科目	研究	専門ゼミナール	2			○			3単位必修	（シラバス参照）						
		卒業研究	1				○									
	経済学の基礎	経済学の基礎Ⅰ	2	○					8単位必修	○		○		○		
		経済学の基礎Ⅱ	2		○					○		○		○		
		経済学の基礎Ⅲ	2			○				○		○		○		
		経済学の基礎Ⅳ	2				○			○		○		○		
	経済と生活	日本の経済	2		○				4単位必修	○	○			○		
		北海道の経済	2			○				○	○		○			
		消費と経済	2			○			選択	○	○		○			
		税金と経済	2			○				○	○					○
		労働と経済	2				○			○				○		
		福祉と経済	2				○			○	○					○
		環境と経済	2				○			○	○		○			
	金融と国際経済	金融と経済	2		○				2単位必修	○	○		○			
		銀行と金融	2			○			選択	○	○					○
		証券と金融	2			○				○	○					○
		保険と金融	2				○			○	○					○
		国際経済	2			○			2単位必修	○	○					
		国際経済事情	2				○		選択	○	○		○			○
		国際金融	2				○			○	○			○		
	経営と情報	企業と経営	2		○				2単位必修	○		○		○	○	
		簿記Ⅰ	2	○					選択	○					○	○
		簿記Ⅱ	2		○					○					○	○
		企業と会計	2			○				○			○		○	○
		企業と市場	2				○			○				○	○	
		企業と法律	2				○			○			○		○	
		コンピュータ実習Ⅲ	1			○				○	○		○		○	○
		コンピュータ実習Ⅳ	1				○			○	○		○			
	上記学科科目の中から必修科目を除く必要単位							16単位以上選択必修								
	学科関連科目	人間行動と社会	2		○				8単位以上選択必修	○	○			○		
		公共の思想	2			○				○	○					
		政治と生活	2			○				○	○		○	○	○	
		法律と生活	2				○			○	○			○		
		情報と社会	2			○				○	○		○	○		
		食料問題と日本	2			○				○				○		
		国際社会と日本	2				○			○	○			○		
	自由科目	海外研修	2		○		○	選択（卒業要件には算入しない）		○		○	○	○		
		企業研究プログラム	6	（詳細は次ページに掲載）						（次ページ参照）						
	小計（学科科目）			45単位以上												
合計（卒業要件単位）				68単位以上												